

レジメン名	XP + T-mab
対象疾患名	胃がん
1クールの日数	21日
催吐性リスク	高度
その他注意事項	HER2陽性

No	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与時間	投与日	
1	生食 硫酸Mg	500mL 10mEq	点滴静注	1時間	day 1	
2	アクチット注 フロセミド注	500mL 20mg		1時間		
3	アロキシ デキサート注	0.75mg 50mL 9.9mg		15分		
4	生食 ハーセプチン (T-mab)注	250mL 初回8mg/kg 2回目～6mg/kg		初回90分 2回目～30分		
5	生食 シスプラチン(CDDP)注	500mL 80mg/m ²		1時間		
6	生食	500mL		1時間		
7	ソルラクト	500mL		1時間		day 1, (2, 3)
8	アクチット	500mL		1時間		day 1, (2, 3)
9	カペシタビン(Cape)	※2000mg/m ²	内服	(14日分)	day1(夕)-15(朝)	
10	アプレピタントCap	125mg 1C		投与前	day 1	
11	アプレピタントCap	80mg 1C		投与翌日	day 2,3	
12	デカドロン錠	4mg 2T/朝昼			day 2-4	

【Cape投与量(処方目安)】

体表面積(m²) 1.36未満 8錠/日 1.36～1.66未満 10錠/日
1.66～1.96未満 12錠/日 1.96以上 14錠/日

【主な副作用】

悪心、嘔吐、食欲不振、下痢、倦怠感、口内炎、色素沈着、手足症候群、骨髄抑制、肝障害、腎障害、浮腫、電解質異常、神経障害(末梢神経障害、聴力障害)、心障害、infusion reaction

【その他注意事項】

- CDDP: 腎障害予防として、飲水指導を実施(OS-1推奨)。
- Cape: ワーファリン、フェニトインと薬物相互作用あり(併用薬の作用増強)。手足症候群対策として保湿剤、ステロイド外用剤を使用する。
- T-mab: 投与前に心エコー検査行い、LVEFが50%以上か確認する。